

令和5年2月13日

各位

会社名 株式会社バルコス  
 (コード番号 7790 TOKYO PRO Market)  
 代表者名 代表取締役社長 山本 敬  
 問合せ先 執行役員管理部長 佐伯 英樹  
 TEL 0858-48-1440  
 URL <https://www.barcos.jp/>

## 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は令和4年2月18日に公表いたしました令和4年12月期通期業績予想を最近の業績動向を踏まえ下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 通期業績予想の修正(令和4年1月1日～令和4年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,213	366	362	237	208.74
実績値(B)	3,505	87	41	3	3.21
増減額(B-A)	△1,708	△279	△321	△234	
増減率(%)	△32.8	△76.3	△88.6	△98.5	
(ご参考)前期実績 (令和3年12月期)	4,657	314	314	183	160.65

#### 2. 修正の理由

##### ●皮革製品販売事業

【売上】 予算 4,967百万円 実績見込み 3,264百万円

第1四半期、第2四半期は計画どおり推移していましたが、第3四半期から徐々にロシアのウクライナ侵攻の影響や外国為替市場の急激な円安の影響により個人消費者の消費マインドが冷え込み、売上が減少しました。第4四半期で売上改善のための施策を実施し売上高を計画値まで改善し、計画を達成できる見通しをしておりました。第4四半期では第3四半期に比較し受注が増加しており、業績が回復してきておりましたが、商品生産

国である中国が新型コロナウイルス感染症に対する対策としてロックダウンの措置を取ったため商品の生産がストップし、注文を受けている商品を年度内に納品することができず、その結果売上が計画を下回る見通しとなりました。

●メディア事業

【売上】 予算 246百万円 実績見込み 220百万円

期間前半は集客も好調に推移していましたが、期間後半に入ったところから全面広告への注意喚起などの影響から徐々に広告効率が低下し始めました。第4四半期に入るところには広告効率も戻り、PVも高い水準に戻ってまいりましたが、減少分を取り戻すまでには至らず売上が計画を下回る見通しとなりました。

●不動産事業

【売上】 予算 -百万円 実績見込み 19百万円

セグメント変更により2022年度から独立セグメントとして別掲いたしました。

●連結グループ全体

【営業利益】 予算 366百万円 実績見込み 87百万円

売上減少に伴う売上総利益の減少により営業利益が減少いたしました。第4四半期には営業利益を改善するためコールセンター業務と出荷業務を内製化しコスト削減を図り営業利益の予算達成を計画しておりましたが、中国のロックダウンの影響によりサプライチェーンが機能しなくなり、注文を受けている商品を年度内に納品することができず、その結果の営業利益の予算を達成することができませんでした。営業利益は87百万円になる見通しです。

【経常利益】 予算 362百万円 実績見込み 41百万円

営業利益の減少によるもの△279百万円、円安による為替差損△36百万円が主な要因となり、経常利益は41百万円となる見通しです。

【当期純利益】 予算 237百万円 実績見込 3百万円

予算237百万円に対し、3百万円に修正いたします。法人税等につきましては、35百万円を見込んでおります。

※業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の実績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上